

今週のテーマ

1. 一週間のまとめ
 - (1) [与党陣営の動き](#)
～米国から積極的に不法移民受け入れ～
..... 1p
 - (2) [野党陣営の動き](#)
～特筆する活動はなし～
..... 3p
 - (3) [外国の動き](#)
～ベネ原油購入国に罰則関税25%～
..... 3p
 - (4) [今週、来週の主なイベント](#)
..... 4p
 - (5) [債券の元利不払い状況](#)
..... 5p
 2. [ベネズエラの国別原油輸出統計](#)
[\(2017～24年\)](#)
..... 6p
 3. [ベネズエラの中国向け](#)
[原油・石油製品輸出の考察](#)
..... 9p
-
- ## 債券指標の動き
4. [ベネズエラ債券・経済指標の増減](#)
..... 12p

カントリーリスク分析



(写真) Shutterstock

“トランプ大統領 ベネズエラ原油購入国の
米国との貿易取引に25%の関税を課すと発表”

一週間のまとめ (2025年3月23日～3月29日)

(1) 与党陣営の動き ～米国から積極的に不法移民受け入れ～

今週、マドゥロ政権は米国からの移民送還を本格的に再開した。

前号「[カントリーリスク・レポート No.399](#)」で紹介した通り、マドゥロ政権は3月20日にメキシコからベネズエラ移民311人を送還していた。

その後、3月23日に米国で拘束されていたベネズエラ移民199人をホンジュラス経由で送還した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1194](#)」）。

POINT

マドゥロ政権 3月20日からベネズエラ移民の送還を再開。

3月20～30日で917人の移民を送還。

2月11～24日で608人と比べて送還ペースはアップ。

米国政府 Chevron の制裁ライセンスを5月27日まで延長。

また、3月28日に米国から178人のベネズエラ移民を送還した。

加えて、3月29日 ホルヘ・ロドリゲス国会議長は「3月30日に229人のベネズエラ人が米国から帰還する」と発表しており、積極的にベネズエラ移民を送還している。

トランプ政権が交渉役として派遣したGrenell 特使と移民送還で合意してからこれまでに6回(2月11日に190人、20日に176人、24日に242人、3月20日に311人、23日に199人、28日に178人)、合計1296人のベネズエラ移民を送還したことになる。

トランプ大統領は、ベネズエラでの Chevron の事業許可を停止すると発表した際、停止の理由について「マドゥロ政権は、彼らが我が国に送り込んだ暴力的な犯罪者を我々が同意したペースで送還していない」と説明していた([「ベネズエラ・トゥデイ No.1184」](#))。

3月30日に229人が送還される場合、送還が再開した3月20日～30日の10日間で917人を送還させることになる。2月(2月11日～24日で608人)と比べると送還ペースが上がっていると言っていだろう。

このような流れの中、3月24日にトランプ政権は Chevron の制裁ライセンスを4月3日から5月27日まで延長した([「ベネズエラ・トゥデイ No.1195」](#))。トランプ政権は、制裁ライセンスを延長した理由について特にコメントしていないが、マドゥロ政権と送還ペースを上げることで合意に至ったことが理由かもしれない。

「[1. \(3\) 外国の動き](#)」で後述するが、トランプ大統領は Chevron の制裁ライセンスを延長した同日にベネズエラ原油を購入する国に対して、米国との取引時に25%の関税を課すという罰則関税措置を発表した。

これらの強硬措置について、トランプ政権の真意が「マドゥロ政権の倒壊」にあるのか「移民送還のペースアップ」にあるのかは不明。

個人的には、トランプ政権は現時点でどちらの選択肢も留保しており、今後の流れにより決定すると想像している。

POINT

トランプ政権 ベネズエラから原油・石油製品を輸入する国に対して、米国との取引時に25%の関税を課すと発表。

トランプ政権がこの罰則関税を本気で適用しようとするれば、ベネズエラの原油輸出は大きく減少する。

(2) 野党陣営の動き ~特筆する活動はなし~

今週も野党について特筆するような動きは確認できなかった。

前号「[カントリーリスク・レポート No.399](#)」(1.(2)野党陣営の動き)でも触れた通り、現在の野党は完全に政治の第1線から退いている。

野党の最大の支援国である米国は USAID 経由の支援金を停止した。また、ベネズエラ移民を悪者にするような政策を執り、ベネズエラへの経済制裁を強化している。ベネズエラの最大の脅威がマドゥロ政権ではなく、トランプ政権と考える野党支持者も増えることだろう。

ベネズエラ国内では、選挙ボイコットを選択したことで選挙を通じた政治参加を否定しており、自らを袋小路に追い込んだ。現在の野党は壊滅的な状況と言えるだろう。

(3) 外国の動き ~ベネ原油購入国に罰則関税25%~

3月24日 トランプ大統領は、自身が運営するソーシャルメディア「Truth Social」にて、ベネズエラから原油・ガスを購入する国に対して、米国との貿易取引時に25%の関税を課すと発表した(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1195](#)」)。

この投稿後、ホワイトハウスが発表した声明から「ガス(天然ガス)」は消えていたが、それ以外は基本的にトランプ大統領の投稿した内容と同様の発表がされた。

この罰則関税は4月2日から有効になるとしており、来週には施行されることになる。

現在、ベネズエラ産原油を輸入している主な国は、中国・米国・スペイン・インド・キューバの5カ国。米国については罰則関税の対象外だが、トランプ政権が他国に本気でこの罰則関税を施行すると脅せば、ベネズエラの原油輸出は大きく減少することになる。

この罰則関税の潜在的な影響については「[2. ベネズエラの国別原油輸出統計](#)」「[3. ベネズエラの中国向け原油・石油製品の考察](#)」を参照されたい。

(4) 今週、来週の主なイベント

3月26日から米国のルビオ国務長官はカリブ海を外遊している。

3月27日 ルビオ国務長官はガイアナを訪問。ガイアナと国境を争っているマドゥロ政権に対して「麻薬密売政権による領土主張には根拠がない」「仮にベネズエラがガイアナあるいは Exxon Mobil に攻撃したとすれば、それは彼らにとって非常に悪い日になる」「我々は強力な海軍を持っており、世界中どこにでも行くことができる」と武力行使の可能性を含めて警告した ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1196」](#))。

ガイアナとベネズエラが国境を争っているエセキボ地域の海域は、米国のエネルギー会社「ExxonMobil」が開発に深く関与しており、同領海をガイアナ政府がコントロールすることは米国にとって重要な問題。トランプ政権がマドゥロ政権に敵対的な政策を続ける要因の1つと言えるだろう。

表： 3月23日～3月29日に起きた主なイベント

日付		内容
3月	23日 日	マドゥロ政権 米国からホンジュラス経由で不法移民199人を送還
	24日 月	トランプ政権 ベネズエラ原油輸入国に25%の関税を発表
		トランプ政権 Chevron制裁ライセンスを5月27日まで延長
	25日 火	
	26日 水	
	27日 木	米国ルビオ国務長官 ガイアナ訪問しベネズエラに警告
	28日 金	マドゥロ政権 米国から不法移民178人を送還
	29日 土	

表： 3月30日～4月6日に予定されている主なイベント

日付		内容
3月	30日 日	マドゥロ政権 米国から不法移民229人を送還予定
	31日 月	
4月	1日 火	
	2日 水	
	3日 木	
	4日 金	
	5日 土	
	6日 日	

(5) 債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（3月28日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,450.2	3,945.2
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,543.8	4,038.8
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	979.2	2,579.2
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,440.0	3,440.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,387.5	3,387.5
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	560.0	1,560.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	675.0	2,175.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	1,054.7	2,554.7
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	3,764.3	7,964.3
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	306.6	606.6
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	768.5	1,520.5
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	2,868.8	5,868.8
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,775.0	6,775.0
	国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	612.5	1,862.5
グレースピリオド満了未払					31,092	22,477.2	53,569.2
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	2,025	6,525.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	2,250	7,250.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,616	4,010.0
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	2,194	5,193.8
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	3,060	6,060.0
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,209	4,209.4
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,097	2,596.9
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,440	4,440.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	1,145	2,828.8
グレースピリオド満了未払					27,078	16,035.9	43,113.7
	電力債18	18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	386.8	1,036.8
グレースピリオド満了未払					650.0	386.8	1,036.8
合計					58,820	38,900	97,720

（出所）Av Security よりベネインベストメント作成

POINT

トランプ政権による罰則関税で米国以外の国がベネズエラから原油を購入しなくなる可能性が浮上。

ITC の統計を用いて各国のベネズエラからの原油・石油製品の輸入額を確認し、罰則関税の影響を考察。

2. ベネズエラの国別原油輸出統計（2017～24年）

トランプ大統領はベネズエラから原油・石油製品を輸入する国に対して、米国との貿易に25%の関税を課すと発表した。この発表により現在ベネズエラから原油・石油製品を輸入している国はベネズエラとの取引を継続するかどうか再考を迫られることになる。

ベネズエラ石油省、中央銀行、PDVSA は原油取引に関連する統計データの公表を停止しており、どの国にどの程度の原油・石油製品を輸出し、どの程度の外貨収入を得ているかを公式なデータで確認することはできない。

そのため、トランプ政権の罰則関税がベネズエラにどの程度の経済的な影響を与えるのかを正確に把握することは困難である。

その前提で、国際的な貿易データベース ITC から今回のトランプ政権の罰則関税の経済的なインパクトを考察したい。ITC のデータを使えば、ベネズエラと輸出入を行った各国の貿易統計情報を足し合わせた統計（ミラーデータ）を確認することも可能。

ミラーデータには貿易統計の公表が遅れている国の貿易実績が含まれないという問題があるが、ベネズエラから原油・石油製品を輸入している国は基本的に「米国」「中国」「インド」「スペイン」「キューバ」の5カ国。

米国、中国、インド、スペインは2024年の年間輸入統計が公表されている。キューバは24年の輸入統計が公表されていないが、キューバとベネズエラの原油取引は金銭の受領を伴わないので、経済的なインパクトという意味では無視して差し支えないだろう。

なお、通常だと輸入は「CIF（運賃保険料込み）」の金額、輸出は「FOB（本船渡し）」の金額で統計を作成するが、相手国のデータをもとに作成しているので「ベネズエラの主要輸入相手国」の統計はFOB、「ベネズエラの主要輸出相手国」の統計はCIFになっている点も留意されたい。

下表が「ベネズエラの主要輸出相手国（原油・石油製品別）」である。

ITC のデータによると、2024年のベネズエラの輸出総額（暫定値）は約128.9億ドル。

うち「原油・石油製品」は輸出総額の82.3%を占める約106億ドルだった。

2019年の188.6億ドルよりは少ないが、2020年からの過去5年間で最も多い輸出額となった。

表：ベネズエラの主要輸出相手国（原油・石油製品別）

（単位：百万ドル、%）

国名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	割合	前年 同期比
1 米国	12,751	13,538	2,016	179	320	449	3,824	6,317	49.0	65.2
原油・石油製品	12,049	12,855	1,709	15	1	2	3,468	6,009	46.6	73.3
2 インド	5,895	7,455	5,688	2,335	99	228	203	2,069	16.1	921.0
原油・石油製品	5,889	7,447	5,663	2,304	0	98	111	1,962	15.2	1,662.1
3 中国	7,202	7,334	4,860	534	998	833	724	1,604	12.4	121.4
原油・石油製品	6,739	7,042	4,554	0	30	390	351	1,051	8.2	199.5
4 スペイン	432	323	920	339	75	594	670	1,495	11.6	123.1
原油・石油製品	338	241	833	296	7	505	592	1,425	11.1	141.0
5 ブラジル	392	171	81	76	163	361	413	422	3.3	2.3
原油・石油製品	214	78	13	0	0	17	33	41	0.3	23.5
6 トルコ	117	1,019	20	62	551	717	367	358	2.8	△ 2.6
原油・石油製品	43	35	0	0	11	87	17	75	0.6	349.6
7 コロンビア	220	137	44	28	69	108	131	134	1.0	2.5
原油・石油製品	8	3	1	0	1	1	8	5	0.0	△ 36.8
8 フランス	83	76	84	78	78	95	126	93	0.7	△ 26.3
原油・石油製品	6	1	0	0	0	0	0	0	0.0	△ 82.6
9 ノルウェー	8	2	2	0	0	1	26	67	0.5	163.9
原油・石油製品	7	2	2	0	0	0	0	0	0.0	-
10 英国	122	51	43	47	37	15	43	36	0.3	△ 16.5
原油・石油製品	118	49	41	46	35	9	40	28	0.2	△ 29.2
その他	6,742	7,751	5,105	2,244	2,452	1,549	1,113	291	2.3	△ 73.9
合計	33,962	37,857	18,863	5,924	4,842	4,950	7,640	12,886	100.0	68.7
原油・石油製品	29,983	32,796	16,661	4,321	1,229	1,235	4,689	10,604	82.3	126.2

（出所） International Trade Center（2025年3月29日抽出データ）

（注）全て暫定値、各国のベネズエラからの輸入額を記載（したがって、CIF）

POINT

2024年の原油・石油製品輸出額は約106億ドル。

うちインド向けの原油・石油製品輸出は約19.6億ドル。

スペインの原油・石油製品輸出は約14.3億ドル。

それでは、次にベネズエラと各国の取引額を確認したい。

輸出総額が最も多いのは「米国」で前年比65.2%増の約63.2億ドル。うち原油・石油製品の輸出が同73.3%増の約60.1億ドルだった。

2番目に輸出総額が多いのは「インド」で同921%増の約20.7億ドル。うち原油・石油製品の輸出が同1662.1%増の約19.6億ドル。

3番目は「中国」で同121.4%増の約16.0億ドル。うち原油・石油製品の輸出が同199.5%増の約10.5億ドル。

4番目は「スペイン」で同123.1%増の約15.0億ドル。うち原油・石油製品の輸出が同141%増の約14.3億ドル。

5番目は「ブラジル」で同2.3%増の約4.2億ドル。うち原油・石油製品の輸出が同23.5%増の約0.4億ドル。

この統計を見る限り、ベネズエラの米国、インド、スペイン向け輸出のほとんどは原油・石油製品であると理解することが出来るだろう。

また、2019年当時と2024年のベネズエラの輸出額を比較してみたい。

米国については2019年当時のベネズエラの原油・石油製品輸出が約17.1億ドル。19年当時よりも24年の方が約43億ドル多かったことになる。

トランプ政権(1期目)は19年1月にPDVSAに制裁を科し、米国企業に対してベネズエラ産原油の輸入を禁止した。この禁止令を受けて2019年6月にベネズエラの米国向け原油輸出は完全にゼロになっていた([「ウィークリーレポート No.396」](#))。従って、2019年の米国への原油・石油製品の輸出は1~5月までの輸出額ということになる。

2019年当時のベネズエラのインド向け原油・石油製品の輸出額は56.6億ドル。24年の約19.6億ドルよりも約37億ドル多かった。19年当時のインド(Reliance)はトランプ政権が発動したPDVSAへの制裁で輸入を留めることはなかったということになる。

POINT

インド、スペインがベネズエラから原油輸入を停止した場合、ベネズエラは30億ドル前後の機会損失を被る可能性がある。

2019年当時のベネズエラのスペイン向け原油・石油製品の輸出額は約8.3億ドル。24年(約14.3億ドル)の方が約6億ドル多かった。

2024年のベネズエラのインド、スペイン向け原油・石油製品輸出額は合計で約33.9億ドル(19.6億ドル+14.3億ドル)。

今後、トランプ政権の罰則関税を受けて「インド」「スペイン」がベネズエラからの原油・石油製品の輸入を停止した場合、30億ドル前後の機会損失を被る可能性があると言えそうだ。

3. ベネズエラの中国向け原油・石油製品輸出の考察

次にベネズエラの中国向け原油・石油製品輸出について確認してみたい。

統計上、2019年当時のベネズエラの中国向け原油・石油製品の輸出額は約45.5億ドル。24年(約10.5億ドル)よりも約35億ドル多かった。ただし、この数字が実態にそぐわないのは明白である。

下表はロイター通信が報じた2024年の「ベネズエラの国別原油輸出量」。参考までに「[2. ベネズエラの国別原油輸出統計\(2017~24年\)](#)」で紹介した各国の原油・石油製品輸出額を横に記載している。

表：2024年 ベネズエラの国別原油輸出量(推定値)

(単位：千バレル/日、%)

(単位：100万ドル、%)

国名	輸出量		【参考】原油・石油製品	
	輸出量	割合	輸出額	割合
中国	351	45.5	1,051	9.9
米国	222	28.8	6,009	56.7
スペイン	75	9.7	1,425	13.4
インド	63.1	8.2	1,962	18.5
キューバ	32	4.1	-	-
その他・不明	28.9	3.7	156	1.5
原油輸出量	772	100.0	10,604	100.0

(出所) Reutres、ITC (注) PDVSAの公式な発表ではない

POINT

中国向け原油・石油製

品の輸出額は10.5

億ドルよりも多い。

推定では中国向け原

油・石油製品の輸出額

は60億ドル前後。

ロイター通信によると、2024年のベネズエラの原油平均輸出量は日量77.2万バレル。

国別では中国が最も多く日量35.1万バレル(全体の45.5%)。

次いで、米国が日量22.2万バレル。

その後、スペインが日量7.5万バレル、インドが同6.3万バレル、キューバが日量3.2万バレルと続く。

2024年のベネズエラの中国向けの原油輸出量が全体の半分近く(45.5%)を占めたにも関わらず、貿易統計で見るとベネズエラの中国向け原油・石油製品輸出額は10.5億ドルで輸出総額の9.9%しか占めておらず、どう考えてもおかしい。

他のレポートでも度々触れているが、これにはカラクリがある。

米国の経済制裁を回避するため、ベネズエラの中国向け原油輸出は海上で別のタンカーに原油を積み替え、マレーシアなどで他国の原油と混ぜることで産地を変えて中国へ輸出されているケースが多い。

この手法で輸出された原油は、中国の貿易統計データでは「ベネズエラからの原油・石油製品輸入」と認識されていない。

表：24年 ベネズエラの推定原油・石油製品輸出額
(単位：100万ドル、%)

国名	原油・石油製品	
	推定輸出額	割合
中国	6,147	39.2
米国	6,009	38.3
スペイン	1,425	9.1
インド	1,962	12.5
キューバ	-	-
その他・不明	156	1.0
原油・石油製品輸出額	15,700	100.0

(出所) 筆者予測値

(注) 原油・石油製品の輸出総額が157億ドル
だったと仮定した上で、中国向け輸出額を試算

これが中国向けの原油輸出量が全体の半分近く(45.5%)を占めているにも関わらず、輸出額では全体の9.9%しか占めていない理由である。

トランプ政権は罰則関税の適用対象として「ベネズエラから直接あるいは第三者を介して間接的に石油を購入する国」と説明している。上記のような産地を変えて輸入する手法が通用しなくなる可能性は否定できない。

中国向けの原油・石油製品輸出額が本当はいくらなのかは不明だが、筆者の試算ではベネズエラの中国向け原油・石油製品輸出額は左表の通り。60億ドル前後ではないかと想像している。

POINT

**Petroguia 2024
年の PDVSA の年間売
上額が 157 億ドルだ
ったと報道。**

**ITC のデータから米国・
インド・スペイン向け
の輸出額は判明してい
るため、これらの数字
を差し引いた結果、中
国向けの原油・石油製
品輸出額は 61.5 億
ドルとなる。**

中国向けの原油・石油製品輸出額が約 60 億ドルではないかと考える理由は以下の通り。

エネルギー専門メディア「Petroguia」によると、2024 年の PDVSA の売上は 157 億ドルだったという（「ベネズエラ・トゥデイ No.1169」）。

ITC のデータから「米国」「スペイン」「インド」「その他」への原油・石油製品輸出額は判明している。つまり、2024 年の PDVSA の売上額 157 億ドルから「米国」「スペイン」「インド」「その他」の原油・石油製品輸出額を差し引いた金額が中国向けの輸出額になると仮定する。

その場合、中国向けの原油・石油製品輸出額は約 61.5 億ドルになる。

なお、この割合は原油・石油製品輸出額全体の 39.2%。

中国向け原油輸出量である 45.5% よりも少ないが、中国向け輸出は上記のような制裁回避手続きを理由にディスカウントされているので、輸出額にすると構成比が 39.2% という数字はしっくりくる印象。

もちろん、これはあくまで予測値である。

個人的には中国がベネズエラからの原油・石油製品の輸入を完全に停止することはないと想像しているが、仮に中国がベネズエラ産原油・石油製品の輸入を停止した場合、潜在的に年間 60 億ドル前後の機会損失を被る可能性があると言えそうだ。

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減(3月28日時点)

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
国債	2018-I	2018/8/15	17.5	19.05	18.28	5.79
	2018-II	2018/8/15	19.9	21.25	20.58	2.36
	2018	2018/12/1	15.7	17	16.35	1.71
	2019	2019/10/13	16.45	17.7	17.08	0.15
	2020	2020/12/9	14.9	16.3	15.60	7.03
	2022	2022/8/23	19.85	21.25	20.55	1.48
	2023	2023/7/5	17.8	19.1	18.45	2.50
	2024	2024/10/13	17.6	19.15	18.38	3.38
	2025	2025/4/21	17.75	18.8	18.28	2.09
	2026	2026/10/21	20.7	21.8	21.25	0.59
	2027	2027/9/15	20.35	21.55	20.95	△ 0.12
	2028	2028/5/7	19.05	20.3	19.68	1.29
	2031	2031/8/5	20.2	21.45	20.83	0.85
	2034	2034/1/13	23.25	24.35	23.80	4.73
2038	2038/3/31	18.65	19.8	19.23	2.53	
電力債	2018	2018/4/10	10.25	11.4	10.83	9.07

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	98.6	100.45	99.53	4.96
2021	9	2021/11/17	14.75	16.15	15.45	△ 0.96
P 2022	12.75	2022/2/17	16.25	17.45	16.85	△ 0.30
D 2022(N)	6	2022/10/28	12.05	13.25	12.65	2.02
V 2024	6	2024/5/16	14.1	15.3	14.70	△ 0.84
S 2026	6	2026/11/15	14.15	15.25	14.70	△ 1.18
A 2027	5.375	2027/4/12	14.15	15.35	14.75	△ 0.34
2035	9.75	2035/5/17	15.8	17.05	16.43	△ 0.30
2037	5.5	2037/4/12	13.65	15.2	14.43	△ 1.70

	百万ドル	先週比
外貨準備	10,609	△ 0.18

為替レート	ボリ/ドル	先週比
両替テーブル	69.57	1.84
並行レート	101.59	15.33

(出所) Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、Dolarparalelo_Oficial

解説

今週はベネズエラ国債、PDVSA社債で増減に大きな差が出た。

国債27を除く全てのベネズエラ国債は先週比プラスに推移。一方、PDVSA社債はPDVSA20、PDVSA22(N)を除き先週比マイナスとなった。

特にPDVSA20については、CITGO競売が進展したことを受けて、大きく上昇(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1194](#)」)。ASKは100を超えている。

また、特筆すべきは「並行レートの上昇」だろう。

並行レートは先週比15.3%増の101.6ボリバル/ドル。両替テーブルの乖離がかなり大きくなった。

並行レートのコントロールが効かなくなっており、今後のベネズエラ経済に大きな悪影響を及ぼしそうだ。

以上